

当たり前だが重要な問題を提起したい。それは、物価が上がることで、インフレ(脱デフレ)とは違うところだ。別の言い方をすれば、一度かぎり物価が上がることで、物価が持続的に上昇していくことは違う、ということだ。

為替レートが円安に振れて食料や資源の輸入価格が上昇し、それが国内物価を引き上げるのは一度かぎりの物価上昇だ。あるいは、火力発電のための燃料費が上昇して電気料金が上昇するといったのも、一度かぎりの価格上昇である(もちろん、現実的には電気料金を一度にすべてあげるわけにはいかない)、何度かに

伊藤元重の

ニュースな見方



わけた料金上昇ということになっていくことで、全体としては物価が持続的に上昇を続けることになる(が)。

今、私たちが目にすることが多い物価上昇には、このように一度かぎりでも

いうような物価上昇の例が多い。もちろん、物価下落を止めるという意

味で、そして人々のデフレマインドを壊すという意味では、一度か

きいだろう。ただ、物価が持続的に上

昇していくメカニズムが経済

の上昇であっても、それが

幅広い分野で次々に起き

意味でデフレから脱却した

物価

物価 持続的上昇の実現

第二のポイントは経済の需要が確実に拡大していくことだ。マクロ市場における需給バランスである国内総生産(GDP)が

アップが確実にマイナスからプラスに転じ、需要が物

価を押し上げていく環境が必要だ。それが、実は持続的な物価上昇

のために、第三の味があるのだ。

は、第三の味である。政府は賃上げの環境を整

えるため、相当に踏み込んだ。今やボールは企業の側

のコートにあると言ってよ

い。企業が賃上げに対して

に必要なのは成長戦略が民間需要を喚起することだ。

か、これからの動きに注目

賃上げが最大のカギに

だ、持続的な物価上昇を

現するために、持続的な

貨幣量の増加が続く必要

がある。最近金融政策につ

いて以前ほど話題になるこ

とが多くないが、持続的な

物価上昇を実現するための

金融政策のあるべき姿の論

議は必要だろう。

(東大大学院

経済学研究所教授)

*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。